

畑作物産地生産体制確立・強化緊急 対策事業(令和6年度補正予算)について

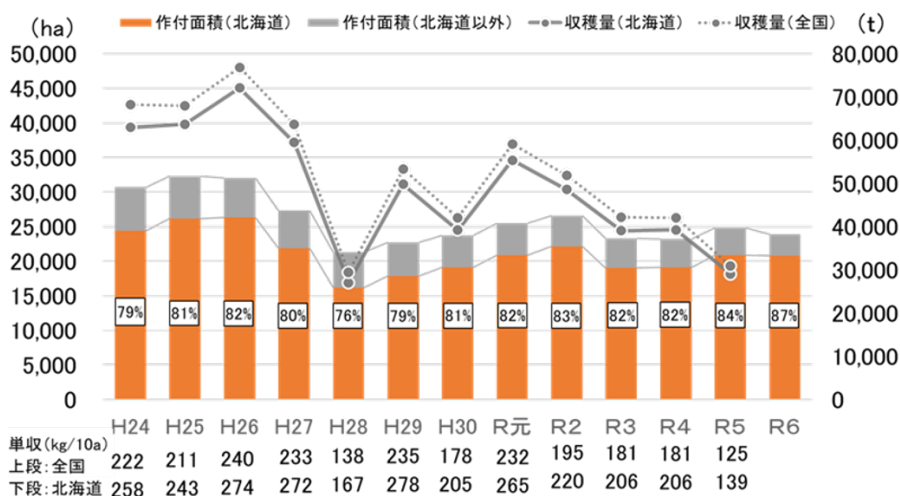
農林水産省農産局穀物課豆類班

令和6年度補正予算畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業について
ご紹介いたします。

補助事業の紹介の前に、最近の豆類をめぐる現状として、特に小豆の①国内
生産と②輸入について簡単に説明いたします。

●①国内生産

まず、国内生産について、下のグラフは小豆の作付面積と収穫量の推移です。
国産小豆の供給元として、年々北海道の割合が高まっており、作付面積で
は8割強、収穫量では9割を超えています。作付面積は平成27年、28年に大き
く減少して以降、回復傾向にありますが、平成20年代前半までの水準には
戻っていません。令和5年産は、記録的な高温・干ばつの影響により、単収
が大きく下がり収穫量が減少しました。また、それに伴い、価格も大きく上
昇しました。令和6年産の収穫量や単収は、現時点では公表されていません
が、作付面積は前年よりやや減少しています。一方で、令和5年産と比較し
て単収が高いことが見込まれることもあり、令和6年後半に価格は1割程度下
落しました。

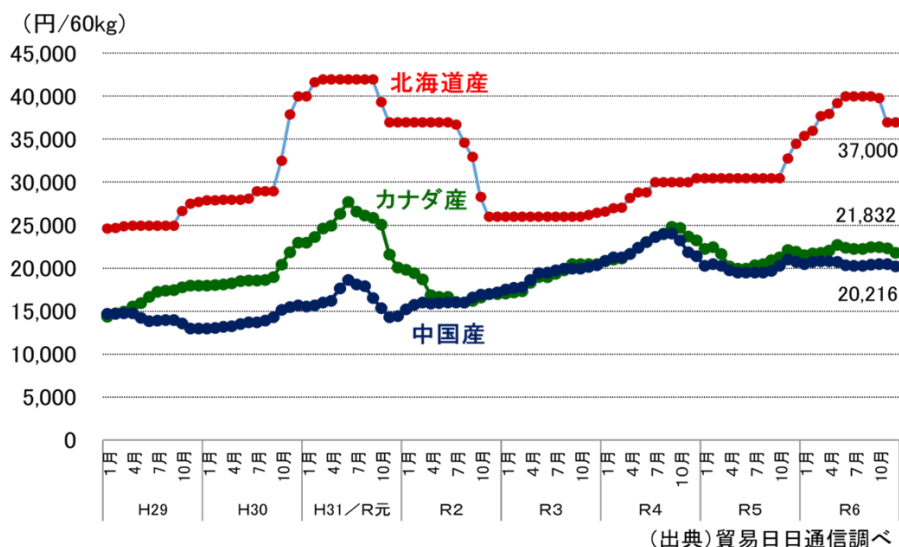


(出典)農林水産省「作物統計」

●②輸入

次に、輸入小豆の動向について確認したいと思います。下のグラフは、小豆の北海道産と海外産の価格の推移です。輸入価格は、国際情勢等から穀物価格が高騰したことをうけて、海外の産地で小豆から他の作物に転換されたことにより令和2年から上昇傾向にあり、令和2年から令和4年まで大きく上昇しました。その後、令和5年、6年は微減から横ばいとなっています。

また、世界的なコンテナ不足や新型コロナウイルス感染拡大による港湾作業の停滞等に伴う輸入の遅れも発生しました。世界的な物流の混乱は正常化しつつあるものの、運河や地域的な問題などは引き続き懸念されるところであり、このような海外からの輸入に係るリスクが顕在化した結果、海外産の調達を取り巻く環境は大きく変化しています。



このような中、海外産との価格差だけではなく、国産小豆の品質や安定供給等を評価する実需者も出てきています。こうした実需者に応え、さらには潜在的な国内需要を獲得していくためにも、国産小豆の安定供給が不可欠です。

●令和6年度補正予算畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業

安定供給に向けて、安定した国内生産が必要となりますが、安定した作付面積を確保するには、生産者の収益性の確保・安定を図り、流通業者や実需

者と複数年にわたって播種前にあらかじめ取引価格を設定する販売形態を導入することも有効であると考えられます。また、病害虫抵抗性や作業性の向上等に資する新品種が開発されており、それらの導入を図ることも有効と考えられます。

そのため、農林水産省では、令和6年度補正予算畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業を措置し、小豆やいんげんを対象に、引き続き複数年契約取引や小豆品種のエリモ167やいんげんの秋晴れなどの新品種、省力化に資する機械の導入を支援いたします。

詳細については、農林水産省ホームページに掲載されております、畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業の実施要領等をご確認いただければと思いますが、ご不明な点、ご意見等ありましたらお気軽にご相談ください。

農林水産省HP

畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業（令和6年度補正予算）について
https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/r6hosei_hatasakukyouka.html

○ 畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業

【令和6年度補正予算額 5,829百万円】
(関連事業：糖価調整制度安定運営緊急対策交付金 6,000百万円)

<対策のポイント>
沖縄県、鹿児島県等のさとうきび・かんしょ産地や北海道の畑作地帯等の畑作物産地における、持続的な畑作物産地体制の構築を図るため、労働力不足や病害虫の発生、気候変動、需要構造の変化など地域・品目ごとの環境変化への対応に向けた取組等を支援します。

<事業目標>

- さとうきびの単収の向上・安定化（6,230kg/10a【令和7年度まで】）
- かんしょの生産量の増加（86万t【令和12年度まで】）
- ばれいしょの生産量の増加（239万t【令和12年度まで】）

事業の内容	事業イメージ
1. 畑作物生産性向上支援事業 ① さとうきび・かんしょ産地における持続可能な生産体制を構築するため、病害虫への対応や生産性向上等の取組を支援します。 ② ばれいしょ・豆類・そば等の安定生産・供給体制を構築するため、種いも産地形成や実用と連携した産地モデル育成、新品種導入、湿害対策技術の導入、病害虫まん延防止対策、気候変動対策等の取組を支援します。 ③ 需要動向等に対応した新たな生産体系の構築、労働負担軽減のための基幹作業の外部化や省力作業機械の導入、化学農薬・肥料の投入量を低減した栽培方法の実証等の取組を支援します。	畑作物産地を取り巻く環境の変化や課題 ・労働力不足の顕在化・難防除病害虫の発生 ・かんしょや加工用・でん粉原料用ばれいしょ、豆類、そば等の需要の高まり ・気候変動への対応 ・減農薬・減化学肥料などの環境意識の高まり 等 ばれいしょの産地作業 ワザライを福岡県
2. 畑作物加工・流通対策支援事業 ① 分みつ糖・いもでん粉工場の労働生産性向上等の取組を支援します。 ② 畑作物の持続的な生産を確保するため、インバウンド向け等市場調査、食品表示の変更等の取組を支援します。	地域・品目に応じた生産性向上 ・地域の生産体制を支える担い手の育成 ・病害虫抵抗性品種の導入 ・複数年契約取引の拡大や新品種・安定生産対策技術の導入 等
3. 畑作物産地生産体制確立・強化整備事業 分みつ糖工場・いもでん粉工場の省力化による労働生産性向上や、かんしょ・ばれいしょの健全な苗や種いも等の供給体制の強化に必要な施設整備を支援します。 (関連事業) 糖価調整制度安定運営緊急対策交付金 国際糖価の高騰・円安等により、収支が悪化している糖価調整制度の安定運営を図るために必要な金額を(独)農畜産業振興機構(ALIC)に交付します。	工場・品目に応じた生産性向上 ・工場内の人員配置、工程の見直し等の取組 ・インバウンド向け等消費拡大に係る市場調査、食品表示の変更の取組、新たな製品開発のための機械設備等の導入 ・甘味資源作物等の他用途利用に向けた取組等 産地体制強化のための施設整備 ・分みつ糖工場の集中管理、自動化・省力化施設、衛生管理の高度化施設の導入 ・健全な苗や種いもの供給体制の強化 ・ばれいしょ供給体制の強化等 等

<事業の流れ>

国 定額、1/2以内、6/10以内 → 都道府県 定額、1/2以内 → 生産者組織 民間団体等 (1の①、2、3の事業) (1の②～③、2の2の事業) → ALIC (関連事業)

【お問い合わせ先】 農産局地域作物課 (03-6744-2115)

(以上)